

『徳川美術館蔵「遊楽図屏風（相応寺屏風）」は語る』正誤表

※訂正箇所は以下の通りでございます。お詫びの上、訂正を申し上げます。（編集部）

誤

112 頁 14 行目	見物客三〇人
112 頁 16 行目	合計八六人
113 頁 10 行目	合計八六人
127 頁 12 行目	板二枚である
139 頁 8 行目	交渉をひている
151 頁 8 行目	三頭の乗馬
160 頁 1 行目	男二人と若衆の
194 頁 17 行目	武士が四人
196 頁 14 行目	若衆たちが一人もいて、女は五人にしかない
204 頁 18 行目	主要な理由
205 頁 15 行目	気品のある」遊女
249 頁 3 行目	二〇〇九一年
252 頁 16 行目	都市として江戸
271 頁 3 行目	大曾根屋敷で死去している
275 頁 13 行目	第五代当主
276 頁 15 行目	「相応寺屏風」の所持
283 頁 3 行目	「御代始め」の制作

正

見物客三一人	見物客三一人
合計八七人	合計八七人
合計八七人	合計八七人
板三枚である	板三枚である
交渉をしている	交渉をしている
二頭の乗馬	二頭の乗馬
若衆の	若衆の
武士が五人	武士が五人
若衆たちが一人もいて、女は五人にしかない	若衆たちが一人もいて、女は五人にしかない
主要な理由	主要な理由
気品のある遊女	気品のある遊女
二〇〇九年	二〇〇九年
都市としての江戸	都市としての江戸
大曾根屋敷で死去している	大曾根屋敷で死去している
第六代当主	第六代当主
「相応寺屏風」を所持	「相応寺屏風」を所持
「御代始め」の政策	「御代始め」の政策